

東南アジア（広域）水道事業人材育成事業（タイ・ラオス） （2022年～2025年）

タイ・ラオス連携による“安全・安心な水”の供給

- **実施団体：**
埼玉県
- **対象国・地域：**
タイ：コーンケン県
ラオス：ビエンチャン
- **現地カウンターパート**
タイ：地方水道公社（PWA）
ラオス：ビエンチャン水道公社



- **協力内容：**
 - 【タイ】
 - ・小規模水道施設管理者向けに研修体制の強化を実施
 - ・水運用の効率化による省エネ方法の指導
 - ・送水圧力の低減による大幅な省エネを実現
 - 【ラオス】
 - ・研修資料とシラバスをCPと共同で作成
 - ・講師候補による模擬講義を行い、テキストの効果検証を行うことで継続的な研修体制を構築した。
 - ・水処理薬品の適正な維持管理方法を指導

■ 団体のこれまでの取り組み：

・タイおよびラオスにおいて、上水道分野を中心とした技術協力事業を継続的に実施してきている。現地政府や水道公社と連携し、職員派遣や研修受入れを通じて運営管理・技術力の向上を支援する他、施設運転・維持管理や人材育成に関する助言・指導を行い、持続可能な水インフラ整備に貢献している。

■ 事業実施の背景：

・タイでは、水需要の増加に伴い送水ポンプ運転に係る電力代が上昇し高い運営コストが課題であり、省エネ化が急務であった。

・ラオスでは、浄水場の適正な維持管理に課題があった。また人材不足による講師育成も喫緊の課題であった。これらの課題に対し、埼玉県企業局の技術やノウハウを活用し、両国における水道人材育成と、タイとラオスの連携体制構築により、持続的な水道事業の能力向上を目指した

タイ/ラオスの課題と成果

【タイ】

課題①：PWAの給水区域外では、地方行政組織が運営する小規模水道が給水を行っている。予算や人材不足のから十分な管理ができていないため、維持管理体制を強化する必要があった。

成果①：動画教材の作成、活用方法指導により職員の維持管理能力向上、浄水場のより健全な運営に寄与した。

課題②：水需要の増加に伴い送水ポンプ運転にかかる電気代が上昇、高い運営コストが課題であった。

成果②：ポンプの運転方法改善により、送水圧力を低減することができ、電力消費量を大幅に削減。

【ラオス】

課題① 研修講師の高齢化から若手職員の育成が急務であった。また、研修資料の陳腐化が課題であった。

成果① 研修テキストを共同で改訂し、模擬講義による研修方法の支援を行い、講師の課題解決能力が向上。

課題② 浄水場の薬品注入や、ろ過池の適正な維持管理について課題があった。

成果② 浄水場の現場職員に対する指導の結果、より健全な浄水場の維持管理運営能力が向上した。

事業の波及効果



タイ・ラオス間の南南協力モデル形成による地域的波及へ

・両公社間に人材育成や技術協力の基盤が形成され、将来的にタイからラオスへの技術支援や人材育成の相互連携体制が構築されつつある。本事業は二国間協力を超え、東南アジア地域における水道分野の南南協力モデルとして、他国への展開や横展開の可能性を生み出している。